

別添：JSCT MM16 臨床研究 共同研究実施医療機関および研究責任医師一覧

2020年1月27日 作成

研究実施機関	所属部署	職名	研究責任医師	住所	電話番号
愛育病院	内科・血液内科	副院長	盛 暁生	札幌市中央区南4条西25-2-1	011-563-2211
北海道大学病院	血液内科	診療科長・教授	豊嶋 崇徳	札幌市北区北15条西7丁目	011-706-7214
市立札幌病院	血液内科	部長	山本 聡	札幌市中央区北11条西13-1-1	011-726-2211
札幌北榆病院	血液内科	診療部長	太田 秀一	札幌市白石区東札幌六条6-5-1	011-865-0111
市立函館病院	血液内科	科長・主任医長	堤 豊	函館市港町1-10-1	0138-43-2000
仙台医療センター	血液内科	医師	勝岡 優奈	仙台市宮城野区宮城野2-11-12	022-293-1111
宮城県立がんセンター	血液内科	診療科長	原崎 頼子	名取市愛島塩手字野田山47-1	022-384-3151
福島県立医科大学附属病院	血液内科	診療科部長・教授	池添 隆之	福島市光が丘1	024-547-1423
新潟大学医歯学総合病院	血液内科	総括医長	瀧澤 淳	新潟市中央区旭町通1番町	025-368-9026
新潟県立新発田病院	血液内科	内科部長	小林 弘典	新発田市本町1-2-8	0254-22-3121
群馬大学医学部附属病院	血液内科	診療科長	半田 寛	前橋市昭和町3-39-15	027-220-8166
渋川医療センター	血液内科	内科系診療部長	松本 守生	渋川市白井383	0279-23-1010
災害医療センター	血液内科	特命副院長	竹迫 直樹	立川市緑町3256	042-526-5511
横浜市立市民病院	血液内科	科長	仲里 朝周	横浜市保土ヶ谷区岡沢町56	045-331-1961

伊勢赤十字病院	血液内科	部長	玉木 茂久	伊勢市船江 1-471-2	0596-28-2171
近畿大学医学部附属病院	血液・膠原病内科	診療部長・教授	松村 到	大阪狭山市大野東 377-2	072-366-0221
近江八幡市立総合医療センター	内科	部長	高橋 良一	近江八幡市土田町 1379	0748-33-3151
京都府立医科大学附属病院	血液内科	部長	黒田 純也	京都市上京区河原町通広小路上ル 梶井町 465	075-251-5111
京都鞍馬口医療センター	血液内科	内科部長	淵田 真一	京都市北区小山下総町 27	075-441-6101
京都第一赤十字病院	血液内科	部長	内山 人二	京都府京都市東山区本町 15-749	075-561-1121
恵寿金沢病院	内科	科長	村田 了一	金沢市下新町 6-26	076-220-9192
金沢大学附属病院	血液・呼吸器内科	講師	高松 博幸	金沢市宝町 13-1	076-265-2276
富山県立中央病院	血液内科	部長	奥村 廣和	富山市西長江 2-2-78	076-424-1531
富山大学附属病院	第三内科	特命講師	和田 暁法	富山市杉谷 2630	076-434-7301
兵庫県立がんセンター	血液内科	部長	村山 徹	明石市北王子町 13-70	078-929-1151
広島大学原爆放射線医科学研究所	血液・腫瘍内科研究分野	教授	一戸 辰夫	広島市南区霞 1-2-3	082-257-5861
広島西医療センター	内科	臨床研究部長	下村 壮司	大竹市玖波 4-1-1	0827-57-7151
山口大学医学部附属病院	第三内科	助教	田中 芳紀	宇部市南小串 1-1-1	0836-22-2753
島根大学医学部附属病院	腫瘍・血液内科	講師	三宅 隆明	出雲市塩冶町 89 - 1	0853-20-2308

米子医療センター	血液腫瘍科	幹細胞移植センター長	但馬 史人	米子市車尾 4-17-1	0859-33-7111
岡山医療センター	血液内科	臨床研究部長	角南 一貴	岡山市北区田益 1711-1	086-294-9911
徳島県立中央病院	血液内科	医療局次長	尾崎 修治	徳島市蔵本町 1-10-3	088-631-7151
松山赤十字病院	内科	副院長	藤崎 智明	松山市文京町 1 番	089-924-1111
原三信病院	血液内科	部長	上村 智彦	福岡市博多区大博町 1-8	092-291-3434
福岡赤十字病院	血液腫瘍内科	部長	谷本 一樹	福岡市南区大楠 3-1-1	092-521-1211
九州がんセンター	血液内科	医長	崔 日承	福岡市南区野多目 3-1-1	092-541-3231
九州大学病院	血液・腫瘍・心血管内科	准教授	宮本 敏浩	福岡市東区馬出 3-1-1	092-642-5230
浜の町病院	血液内科	部長	衛藤 徹也	福岡市中央区長浜 3-3-1	092-721-0831
福岡大学病院	腫瘍・血液・感染症内科	診療部長	高松 泰	福岡市城南区七隈 7-45-1	092-801-1011
九州医療センター	血液内科	科長	岩崎 浩己	福岡市中央区地行浜 1 丁目 8-1	092-852-0700
JCHO 九州病院	血液・腫瘍内科	医長	小川 亮介	北九州市八幡西区岸の浦 1-8-1	093-641-5111
久留米大学病院	血液・腫瘍内科	診療科長・教授	長藤 宏司	久留米市旭町 67	0942-31-7852
聖マリア病院	血液内科	診療部長	今村 豊	久留米市津福本町 422	0942-35-3322
宮崎県立宮崎病院	血液科	医長	河野 徳明	宮崎市北高松町 5-30	0985-24-4181
鹿児島大学病院	血液膠原病内科	部門科長	石塚 賢治	鹿児島市桜ヶ丘 8-35-1	099-275-5934

1. 研究支援・資金管理

本研究は、セルジーン株式会社および小野薬品工業株式会社より「医師主導臨床研究に関する契約」に基づき一般財団法人 地域医学研究基金が資金提供を受けて研究者のグループである、JSCT 研究会が主体となって実施する。一般財団法人 地域医学研究基金は、医療機関から独立した非営利の組織であり、本研究の研究計画書の作成から研究の実施、研究結果の公表まで JSCT 研究会の研究者を支援する。

なお、本研究ではセルジーン株式会社および小野薬品工業株式会社が製造・販売する製剤も用いて行なわれるが、セルジーン株式会社および小野薬品工業株式会社は本研究の実施、解析、報告に関わることはなく、研究結果に影響を与える状況にはない。

2. 研究代表医師の利益相反管理

研究代表医師である九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科 宮本敏浩は、申告すべき利益相反関係が無いことを、所属機関の管理者が事実確認を行い、利益相反管理計画を作成している。研究代表医師は、利益相反管理基準及び利益相反管理計画について、九州大学病院臨床研究審査委員会の意見を聴き、適切な管理を行う。

3. 研究責任医師・研究分担医師等の利益相反管理

北海道大学病院 血液内科の研究責任医師である豊嶋崇徳は、本研究に用いる試験薬 フィルグラスチム（遺伝子組換え）製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を血液内科学講座に受けている。

近畿大学病院 血液・膠原病内科の研究責任医師である松村到は、本研究に用いる試験薬 注射用シクロホスファミド水和物を製造販売している塩野義製薬株式会社と、本研究に用いる試験薬 カルフィルゾミブ製剤を製造販売している小野薬品工業株式会社と、本研究に用いる試験薬 フィルグラスチム（遺伝子組換え）製剤を製造販売している協和キリン株式会社より、年間 200 万円を超える奨学寄附を内科学教室 血液・膠原病内科部門に受けている。

京都府立医科大学附属病院 血液内科の研究責任医師である黒田純也は、本研究に用いる注射用ボルテゾミブを製造販売しているヤンセンファーマ株式会社と、本研究に用いるレナリドミド水和物カプセル、デキサメタゾン錠を製造販売しているセルジーン株式会社から、年間 100 万円以上の講演料・技術指導料等を受け取っている。

金沢大学附属病院 血液内科の研究責任医師である高松博幸は、本研究に用いる注射用ボルテゾミブを製造販売しているヤンセンファーマ株式会社から、年間 100 万円以上の講演料等を受け取っている。

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター 血液内科の研究責任医師である角南一貴は、本研究に用いるレナリドミド水和物カプセル、デキサメタゾン錠を製造販売しているセルジーン株式会社と、本研究に用いるフィルグラスチム（遺伝子組換え）製剤を製造販売している武田薬品工業株式会社から、年間 100 万円以上の講演料・原稿執筆料等を受け取っている。

医療法人 原三信病院 血液内科の研究責任医師である上村智彦は、本研究に用いる注射用ボルテゾミブを製造販売しているヤンセンファーマ株式会社から、年間 100 万円以上の講演料・原稿執筆料等を受け取っている。

福岡大学病院 腫瘍・血液・感染症内科の研究責任医師である高松泰は、本研究に用いる試験薬 カルフィルゾミブ製剤を製造販売している小野薬品工業株式会社と、本研究に用いるフィルグラスチム（遺伝子組換え）製剤を製造販売している武田薬品工業株式会社から、年間 200 万円を超える奨学寄附を腫瘍・血液・感染症内科学に受け、小野薬品工業株式会社と武田薬品工業株式会社が提供する寄附講座に所属している。尚、企業からの資金では給与を得ていない。

鹿児島大学病院 血液膠原病内科の研究責任医師である石塚賢治は、本研究に用いるレナリドミド水和物カプセル、デキサメタゾン錠を製造販売しているセルジーン株式会社から、年間 100 万円以上の講演料等を受け取っている。

本研究において、利益相反申告者となる研究責任医師・研究分担医師及び統計解析責任者は、

実施医療機関の管理者に研究者利益相反自己申告書を提出し、事実関係の確認を依頼し、利益相反管理計画を研究代表医師に提出する。研究代表医師は、当該利益相反確認報告書を受け取りその内容を踏まえ、利益相反管理計画を作成し、九州大学病院臨床研究審査委員会の意見を聴き、適切な管理を行う。

以上